

令和2年度より、それまでの「少人数学級編成制度」から、授業において複数の教員が指導することできめ細やかな指導、個に応じた指導が可能となる

「学力向上支援教員配置」へと変更しました。

授業に2人の教員がいることで、学習に「とまどっている児童生徒」や「つまづいている児童生徒」に対して、支援教員が個に応じた指導を行います。

1 複数学習指導教員とは、

小・中学校の国語や算数（数学）、外国語（英語）の授業において、担任と支援教員の2人がチーム・ティーチングを行い、きめ細やかな授業を進めることができます。担任以外に支援教員が授業に加わり、理解度に応じた支援を行うことで基礎的・基本的な学力を高めます。

2 生活学習指導教員

小学校低学年において、基本的な生活習慣の確立のための支援を行い、児童が落ち着いて授業を受け、学習内容が定着できるようにします。

3 補習学習指導教員

各学校において、授業で学習したことを確実に定着させるために、放課後などの時間を活用した補充・補習学習で児童生徒を支援します。